

次第

●日時:令和3年3月30日(火)
18時30分～19時30分

●場所:Web開催

1. 開会

2. 議事

- (1) がんの緩和ケア処方マニュアルについて
- (2) マニュアルの周知方法について

3. 報告・連絡

- (1) 令和3年度 埼玉県医師会在宅医療塾について
- (2) 当検討委員会の今後のスケジュールについて

4. 閉会

埼玉県在宅緩和ケア推進検討委員会 委員名簿

(敬称略)

所属団体等	職名	氏名	備考	出席
一般社団法人 埼玉県医師会	副会長	廣澤 信作	委員長	○
一般社団法人 埼玉県医師会	常任理事	鹿嶋 広久		○
一般社団法人 埼玉県医師会	地域包括ケアシステム 推進委員会 委員	三谷 雅人		○
埼玉医科大学総合医療センター (地域がん診療連携拠点病院)	緩和医療科 教授 緩和ケア推進室 室長	儀賀 理暁		○
深谷赤十字病院 (地域がん診療連携拠点病院)	緩和ケア外科 部長	浦川 雅己		○
新都心ホームケアクリニック (在宅療養支援診療所)	院長	小野 充一	早稲田大学人間科学部健康福祉科学科 緩和医療学・臨床死生学研究室 教授	○
公益社団法人 埼玉県看護協会		六反 勝美	埼玉石心会病院 看護師長	
一般社団法人 埼玉県訪問看護ステーション協会	会長	三塩 操		
一般社団法人 埼玉県薬剤師会	常務理事	池田 里江子		○
一般社団法人 埼玉県介護支援専門員協会	理事	白戸 江美子		
一般社団法人北埼玉医師会 北埼玉在宅医療連携室	室長	佐藤 政代		
埼玉県立がんセンター (都道府県がん診療連携拠点病院)	緩和ケア科 科長 緩和ケアセンター 部長	余宮 きのみ		○
	緩和ケア科 副部長 緩和ケアセンター副部長	中西 京子		○
	緩和ケアセンター 看護師長	森住 美幸		

がんの緩和ケア処方マニュアルについて①

【前回の委員会でのご意見を受け、修正した部分】

- ・薬名について、一般名(商品名)とした。
- ・商品名を複数記載することがスペース上難しかったため、記載しているのは「主な商品名」である注釈をつけた。
- ・商品名に®をつけた。
- ・見出し2の処方例を修正した。
- ・NRSの痛みのスケールを入れた。
- ・詳細版の案内として、がんセンターのHPにリンクする二次元コードを入れた。

【前回の委員会でのその他のご意見】

- ・初めての人向けであれば、情報が足りないのは当たり前で、このマニュアルは一枚でまとまっていた方がわかりやすい。
- ・次年度以降、第2弾を出せると良いかもしれない。

がんの緩和ケア処方マニュアルについて②

【内容について】

- ・商品名など、更新したほうが良いものはないか。
- ・薬の量などの記載内容はこれでよいか。
- ・一般名(商品名)を入れたため、全体的に文章量が増えているが、文章を削れる部分はないか。

がんの緩和ケア処方マニュアルについて③

【周知方法について】

- ・令和3年度9月に実施する「埼玉県医師会在宅医療塾」で周知してはどうか。
- ・がん診療連携拠点病院が行う緩和ケア研修会で周知してはどうか。
- ・郡市医師会から在宅医療を行っている診療所等へ周知してはどうか。
特に、県の在宅緩和ケア地域連携構築事業補助金の中で、地域連携会議を実施している郡市医師会にあたっては、地域連携会議の中で周知してはどうか。
- ・県医師会から、医療機関あてに周知してはどうか。
(非会員医療機関へは、所管保健所から周知)
- ・県・県医師会のHPで周知してはどうか。